



NPO法人 国際社会人剣道クラブ中国地区クラブ会報
INTERNATIONAL GOODMILL KENDO CLUB

第252号 2022(令和4)年10月発行

中国地区クラブ会長 三好 伸二

正心

SEI SHIN

発行責任者 幹事長 金尾 静一
副幹事長 寺本 昭彦

特定非営利活動法人 国際社会人剣道クラブ H.P <http://www.npo-igkc.or.jp>

【第252号の主な事項】

- ① 2022年度11月全国例会は、11月5日(土)～6日(日)に京都市において開催されます。
☆中国地区クラブの11月地区例会は、全国例会が開催されますので行いません。
- ② 2022年度12月例会(宿泊)は、12月10日(土)に岡山県浅口市で開催予定です。
本会報(10月)にて、併せてご案内を行います。
- ③ 2022年度10月例会(日帰り)は、10月22日(土)に、広島県三次市において無事終了しました。
- ④ 会員拡大に向けて、会員ひとり一人の活動により、一名でも多くの新会員の獲得にご協力をお願い致します。



令和4(2022)年度 10月例会『日帰り』=広島県三次市=のご報告

【10月例会】

2022年度10月例会(日帰り)は、朝夕は肌寒さ感じ、山間部に位置する会場周辺は紅葉も始まり秋の気配を感じる中、「三次市 酒屋体育館」において開催されました。

COVID-19感染症の感染状況は、減少傾向ではありますが高止まり感がするなか、感染防止対策を徹底して実施されました。

集合時間までには、会員16名と地元剣連から1名の参加があり総勢17名が集合しました。

恒例により、10月例会は11月全国例会(国際親善剣道大会)及び秋の昇段審査を前に、出場選手との試合稽古を行うことから、通常例会のスケジュール変更等を行い開始となりました。

14時30分。松田先生の号令により準備体操、そして素振り(上下素振り・面素振り・股割り素振り等)を行い、心身を解しました。



【座礼】

今例会は準備体操後、スケジュール変更を行い座礼から始まりました。

代表講師の三好会長は、ご都合により欠席となりましたので、森副会長から「11月全国例会では親善剣道大会があります。また、秋の審査会もあります。因みに、全日本剣道選手権大会に出場される選手が



どのように戦うか？ それは一人ひとりそれぞれの癖や特徴をシッカリと把握して分かり、自ら有利な試合運びを行う。そういう気迫により、先の気で攻めていることだと思います。本日は、有意義な例会になるよう、頑張っ取り組みましょう。」とご挨拶をいただき例会開始となりました。

【日本剣道形稽古】

剣道形稽古の前に、平川先生から日本剣道形太刀1本～7本、小太刀1本～3本における注意するポイントについて解説をいただきました。

①太刀一本目は、十分な合気になり、(i)打太刀は機を見せながら、仕太刀の機を見て大きく正面を打つ。(ii)仕太刀は、打太刀の面を抜き、1拍子で・物打ちで打つ、②太刀二本目は、(i)打太刀は、仕太刀の小手を切るぐらいまで振り下ろす。(ii)仕太刀は、剣を抜くと同時に振りかぶり一拍子で小手を打つ。この振りかぶった時に剣先が下がらない。③太刀三本目は、(i)打太刀は下段から気争いで相中段になり、焦らないで機を見て仕太刀の水月を突く。(ii)仕太刀は、打太刀の刀身を物打の左鑄で軽く入れ突きに萎やし、打太刀の胸部へ突き返し、突きの氣勢で位詰めに進む。④太刀四本目は、(i)打太刀は、双方相手を察するように小幅で三步前に進む。(ii)お互いに正しく正面を打ち込み、切り結び相打ちとなり、互いに鑄を削るように攻防しながら相中段となる。(iii)打太刀は、機を見て仕太刀の右肺を突く。⑤太刀五本目は、(i)打太刀は、諸手を十分に伸ばして正面を打つ。(ii)仕太刀は、左鑄で打太刀の刀を摺り上げ、1拍子で・物打ちで打つ。⑥太刀六本目は、(i)打太刀は、仕太刀の刀と合おうとする瞬間にいて諸手左上段となる。この上段に対し(ii)仕太刀は、すかさず前に攻め進み打太刀の左上段の左拳に剣先をつける。その後、小技の小手に対して右鑄で摺り上げ打太刀の小手を打つ。この時、打太刀との距離が近い場合は右足を踏み出さなくても良い。⑦太刀七本目は、(i)仕太刀は、打太刀の胸部への突きを鑄で支える。(ii)仕太刀の右胴の打ち方は、右足で振上げ・左足の時に打つ。打った後の刀は地面と水平。仕太刀は打太刀から目線を外さない。⑧小太刀1本目は、(i)打太刀は、仕太刀が入り身になろうとするところをすかさず正面を打つ、(ii)仕太刀は、左上段に対する構えなので、少し高めで刃は左に向いた状態。打太刀の面を左鑄で受け流して打太刀の正面を打つ。摺り上げる時、意識し過ぎて高く上げなくても打太刀の左拳を攻めていれば、スッと小太刀を上げれば左鑄で受け流すことはできる。⑨小太刀2本目も、仕太刀は、打太刀が上段に振りかぶると、打太刀の左拳を攻め、打太刀の面を右鑄で受け流す。残心は、左手で打太刀の右腕を上から、肘を曲げず伸ばし押さえる。⑩小太刀3本目の仕太刀は、打太刀の面を摺り上げ・摺り落とす。そして打太刀の右胴を左鑄で摺り流し、仕太刀の鏝元に摺り込み、左手で打太刀の右腕を、肘を曲げず伸ばして押さえ前進する。等について分かりやすく指導・解説をいただきました。

その後、太刀1本目～小太刀3本目までの形を実施した後、平川先生より更に「①太刀一本目の打太刀は、上段からの正面を打った後、ちょっと前傾姿勢となるがこの時も目線は相手から外さない。②太刀四本目の仕太刀は、脇構えであるため、足の出し方も右斜めに向けたまま前進する。③前進後退時には、後ろ足の引き付けを必ず行う。」ことと注意をいただきました。

続いて、森先生より「①後ろ足の引き付けについては「日本剣道形解説書(全剣連)」・「剣道形の指導の留意点」・「形に対する心得」に記載されていますので、確認をして下さい。②太刀一本目と太刀五本目の打太刀の上段からの面は異なっておりますが、その時も後ろ足は引き付ける。③脇構えの剣先の高さは、下段の高さである。④太刀三本目の仕太刀の突き返しに対する打太刀の剣先は、仕太刀の咽喉部につける。太刀七本目の打太刀の突きに対する仕太刀の剣先は、打太刀の咽喉部につける。」ことと注意をいただきました。



【写真撮影、試合稽古】

参加者の集合写真撮影後、続いて試合稽古に移りました。

11月全国例会の親善剣道大会に出場する選手を中心に、森副会長と平川先生を審判員として、3分1本勝負を6組が熱き戦いを展開しました。試合に挑む先生方は、徐々に緊張感が増して来ている様子であり、気の集中や体を解す動き等が目立っていました。

試合開始。稽古では見られない？緊張した堅い動きや慎重な動きが見える。やはり、一本がなかなか決まらない試合の方が多かった。一方、鮮やかな一本を決めた先生もおられました。

各試合が終わる毎に、森副会長と平川先生から寸評をいただきました。
参加された先生方一人ひとりが課題等に気付き・反省をされたことと思います。
大会本番に向けて。是非課題等の克服を行い、素晴らしい成果を勝ち取って下さい。



【指導稽古、お互い稽古】

15時40分から開始。講師陣は、森副会長、平川先生が元立ちとなっており、指導稽古の開始です。

試合稽古後でもあり、緊張感・集中力を継続しながら反省等課題を意識して果敢に取り組んでおりましたが、先生方の先の気に押されて悪戦苦闘でした。

参加者が少ないこともあり、指導稽古は十分にいただくことが出来、充実した指導稽古・お互い稽古でした。



【終りに】

終わりに、森先生より「試合稽古は、普段の稽古と違い、試合は負けられないという気持ちとなり、緊張され、思った動きが出来なかった方もおられる様ですが、自分の力を十分出し切り、全国例会の親善試合では良い結果を期待しております。頑張ってください！！では、次回の12月例会では、皆さん元気でお会いしましょう。」

平川先生より「本例会の中で感じたことは、気で攻め、気を切らず、気を引き締め、そして合気になったところをぐっと堪える。そこで相手の起こりを打つ。合気になるためには、気を外さない事。私も、6段・7段の時にいろいろな先生の所に行きましたが、気の稽古でいっぱい・いっぱいになって気位で負けて、気で返すため打ち込み稽古を行いました。それは気が張っているから感じることであり、その気を感じられるのが、上位に立つ方である。本日、試合稽古を行いました。気で攻められた時にハッと後ろに逃げたところもありましたが、引くことはあっても気を外さないことが大事です。気を外さない稽古はしんどいですが、しんどい稽古で気が養われ、それを繰り返すと自分の身についてくる。試合でも、気を外さないように頑張ってください。」とご指導をいただき、終了しました。

～ご指導ありがとうございました！お疲れ様でした！～

【記：寺本記録メモより】

【朝稽古会】

第2日目(10/23)午前9時30分、曇り空で少々暖かさを感じる中、昨日と同じ「三次市酒屋体育館」に6名の会員が集合し、座礼。続いて、直ちに基本打ち稽古、お互い稽古を全員総当たりで廻り稽古を行いました。昨日の反省・課題を意識し、時にはお互いに確認し合いながら、真剣に稽古に励んでいました。

全日程を無事に終了し、11時過ぎに解散・帰途につきました。

～お疲れ様でした！～



令和4(2022)年度 11月例会『全国例会・国際親善剣道大会』=京都市=のご案内

■開催月日:2022(令和4)年11月5日(土)～6日(日)

■開催場所:京都市武道センター・武徳殿

※団体戦については、3チーム編成・参加です。

※個人戦出場者(16名)

※その他参加者(1名)

★皆様の多いなる声援をよろしくお願い致します！！

令和4年(2022)年度 12月例会『宿泊・忘年例会』=岡山県浅口市=のご案内

【稽古会】 =宿泊例会=

日 時：令和4(2022)年12月10日(土) 14:30~17:00 (集合:14:00)
場 所：岡山県浅口市『天草総合公園 武道館』 岡山県浅口市鴨方町 2244-2

【朝稽古会】

日 時：令和4(2022)年12月11日(日) 9:30~10:30
場 所：岡山県浅口市『天草総合公園 武道館』

【宿 泊】

日 時：令和4(2022)年12月10日(土) 岡山県浅口郡里庄町里見 6070 - 1
場 所：『にしな ビジネスホテル』

【その他】

例会幹事：廣畑先生

令和4(2022)年度 1月例会『日帰り・新年例会』=広島県安芸郡=のご案内(予定)

令和5(2023)年新年例会となります。

日 時：令和5(2023)年1月14日(土) ※15日(日)の朝稽古は自由参加です。
場 所：広島県広島市安芸区
例会幹事：上野先生

令和4(2022)年度 2月例会『日帰り・年度末例会』=広島県東広島市=のご案内(予定)

令和4(2022)年度最終の例会となります。

日 時：令和5(2023)年2月11日(土) ※12日(日)の朝稽古は自由参加です。
場 所：広島県東広島市
例会幹事：西本先生

他地区クラブの出稽古先

※会員の方は、他地区の例会(稽古会)へ自由に参加可能ですので、どうぞご遠慮なくご参加下さい。
地区クラブからは、大歓迎されます！！
なお、各地区クラブの幹事長連絡先等については、お問い合わせ下さい。

「北海道地区クラブ」・「東北地区クラブ」・「関東地区クラブ」・「東海地区クラブ(北陸を含む)」・
「近畿地区クラブ(四国を含む)」・「中国地区クラブ」・「九州地区クラブ」 です。

以上

(4/4)